



口から発信する健康づくり

令和3年度における活動実績・成果の概要

【革新的食学拠点】

2020年、大学院歯学研究科は、大学院農学研究科および宮城大学食産業学群と連携し、世界初の学際共創科学として「食学 (Shoku-gaku)」を創生した。「食学」は、食べ物の入り口である口腔の科学、すなわち「歯学」と、これまでの“食”の科学である「栄養科学」と「食品科学」を統合・融合した全く新しい学問であり、東北から発信する世界初の学問である。

【活動実績・成果】

① 『革新的食学拠点』シンポジウム2021

食べ物の入り口である口腔の科学、すなわち「歯学」と、これまでの“食 (しょく)”の科学である「栄養学」と「食品科学」を接合した全く新しい学問であり、世界初の学術領域である「食学」を広く発信し、情報共有、情報交換の場を創出することを目的とし、年1回、「革新的食学拠点シンポジウム」を開催している。

・令和3年度シンポジウム：2021年12月20日（月）13：00-16：00

② 『革新的食学拠点』合同研究ミーティング

「食学 (Shoku-gaku)」の概念に基づいた共同研究を推進するため、合同研究ミーティングを定期開催し、相互の研究シーズ・ニーズの紹介とマッチングを行い、部局・大学の連携を推進、さらに新たな共同研究提案に対するスタートアップ支援を行った。

- ・令和3年度第1回：2021年4月15日（木）10：00-12：00
- ・令和3年度第2回：2021年7月19日（月）10：00-12：00
- ・令和3年度第3回：2021年9月21日（火）10：00-12：00

③ 革新的食学拠点研究スタートアップ支援制度

若手研究者を中心として「食学」に関する異分野融合共同研究の推進と産学官連携の促進を行うためのスタートアップを支援。令和3年度は、9件の研究課題について支援を行った。

関連ホームページ：

<https://www.dent.tohoku.ac.jp/syokugaku/>



『革新的食学拠点』シンポジウム2021

日時：2021年12月20日（月）13:00-16:00

オンラインセミナー（Zoomにて開催：無料）

- 挨拶

東北大学 総長	大野 英男
宮城大学 理事長兼学長	川上 伸昭
- 「革新的食学拠点」紹介

東北大学大学院歯学研究科長	高橋 信博
東北大学大学院農学研究科長	阿部 敬悦
宮城大学理事兼副学長、食産業学群長	西川 正純
- 特別講演

加藤 久典（東京大学特任教授：日本栄養・食糧学会会長）	
原田 昌彦（東北大学農学研究科教授：放射光生命農学センター長）	
石川 伸一（宮城大学食産業学群教授）	
白石 成（東北大学歯学研究科助教）	
- 「革新的食学拠点」研究スタートアップ支援・採択テーマ発表

お申込み方法

下記申し込みフォームから、**12月17日(金)まで**にお申し込みください。

※お申込みいただいた皆様へは、開催日までセミナー参加のためのURLをお送りいたします。

URL <https://forms.gle/QD2mKD3Dze6VtRDA8>



主催：東北大学大学院歯学研究科／農学研究科、宮城大学

お問合せ先：東北大学大学院歯学研究科
歯学イノベーションリエゾンセンター・異分野融合部門
Email: kanetaka@dent.tohoku.ac.jp

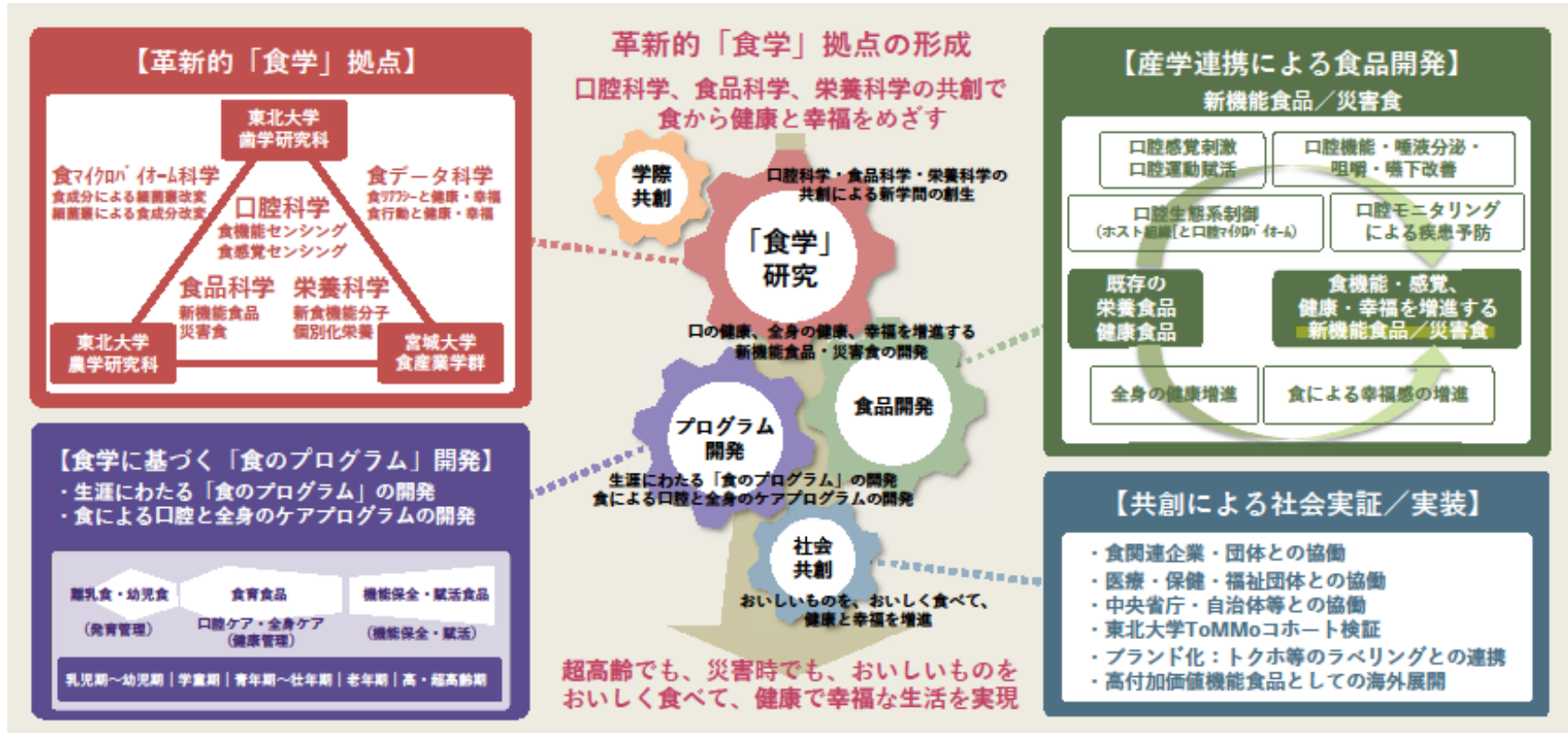




口から発信する健康づくり

食学：健康と幸福をめざす「食べる」「食品」「栄養」の学際共創科学

SHOKU-gaku: Transdisciplinary Science of Eating, Food, and Nutrition for Health and Wellbeing



緊急性：健康長寿社会（国・国民が希求する課題）、災害時の健康な「食」の確保
課題：口から食べる・おいしく食べることで健康長寿を実現・・・しかし、そのための「食品」と「食のプログラム」がない
「食」の総合的研究・開発が必要・・・しかし、そのための「共創的研究組織」がない
背景：超高齢社会の到来・・・生涯にわたり口から食べることで健康・幸福を実現（経腸/静脈栄養よりも経口栄養の推進）
第1次産業の改革・・・安心安全な食ブランドによる高付加価値機能食品の開発と国内・海外市場確立
多発する自然災害・・・発災時・避難生活時の安全かつ効果的な食からの健康維持の必要性